

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 19-035)

1 パラオ、ナウル、マーシャル諸島といった太平洋島嶼国首脳等は台湾の蔡英文総統の再選を祝福（蔡英文総統は、1996年に行われた台湾初の総統選挙以来、最大の勝利となる得票数（約820万人）及び得票率（57%）を得る）

[原文](#)

(13 January 2020, Radio NZ)

2 「サモアは、中国政府の支援により、数百万ドル（約15万ドルの予算もサモア国会に提示）をかけて、警察大学（Police Academy）を設置し、サモアだけでなく地域（太平洋島嶼国）の法執行機関のハブとするほか、入管等の国境管理の職業訓練センターとする予定」とサモア警察庁長官が説明

[原文](#)

(11 January 2020, PACNEWS)

3 パラオの海底ケーブル企業（BSCC）は、同国のインターネット環境を安定的に確保する観点から、バックアップとして必要な2本目の海底ケーブル設置に関して、パラオ国会（OEK）にプロジェクトへの保証を求める（同プロジェクトの費用は25.4万ドルと推計され、資金調達に関しADBは利用できないため、同社は日本2社及びオーストラリア1社と調整を行っていると説明）

[原文](#)

(14 January 2020, Island Times)

※以下のIsland Timesは、時間帯によって表示に時間がかかる場合やアクセスできない場合がございます。その際は、お手数ですが時間をしばらくおいてから再度お試しください

4 パラオへの2019年の訪問者が、対前年比11%減の94026人となり、2010年以来、最低となる（11月及び12月は対前年同月比増となっており、12月は2013年来初めて日本人訪問者数が中国人より多くなるも、全体としては中国からの訪問者が、引き続き最大のシェアである）

[原文](#)

(14 January 2020, Island Times)

5 キリバスは、中国政府が承認する中国人観光客の団体旅行先に追加される（キリバスの大統領が、今月中国を訪問し、同国の一帯一路構想に署名）

[原文](#)

(14 Jan 2020, Radio NZ)

6 「2019年のシンガポールにおける海上コンテナ輸送量は、アメリカと中国の貿易戦争の影響にも関わらず、過去最高を記録（対前年比 1.6%増の 3720 万 TEU）。また、2020 年 1 月から開始される船舶燃料の硫黄分規制（IMO2020 規制）に関して、適合油と非適合油の価格差の問題は憶測に過ぎず、シンガポールは、非常に速い段階から寄港する船舶に対して適合油を供給可能であることを明らかにしてきた」と同国のラム・ピン・ミン運輸及び保健上級国務相が発言

[原文](#)

(14 January 2020, The Straits Times)

7 2020 年における太平洋島嶼国の動きとして、キリバス、ニウエ、パラオ、バヌアツ、ニュージーランドにおいて総選挙が実施予定。マーシャル諸島ではすでにカブア新大統領を選出。ソロモン諸島は、2019 年に台湾との国交を断絶し、中国と国交を樹立したため、現ソバガレ首相に不信任決議が出る可能性がある。同様に、就任 2 年目となったパプアニューギニアのマラペ首相も、前オニール首相の再復帰という声もあり厳しい時期となる模様。昨年、住民の 97.7%が独立を支持する投票を行ったブーゲンビルは、パプアニューギニア政府との交渉作業が行われたのち、PNG 議会によって独立が承認される必要があるが、スケジュールは示されていない。ニューカレドニアでもフランスからの独立を問う関連の投票が 9 月に行われる予定

[原文](#)

(14 Jan 2020, PACNEWS)

8 マラッカ・シンガポール海峡での治安の確保に取り組む 4 か国（シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア）の枠組み「マラッカ海峡パトロール（MSP）」の第 14 回会合が、シンガポールで開催され、軍関係の指導者が集まった。シンガポール海峡で海上強盗が増加する傾向（これまで 2016 年は 2 件、2017 年は 8 件、2018 年は 7 件に対し、2019 年は 31 件）がみられ、参加各国は情報共有及び運用調整等について議論

[原文](#)

(15 January 2020, The Straits Times)

9 2019 年に、世界の海洋は最高の海水温度を記録（アメリカと中国の科学者チームは、世界の海洋に設置した約 4000 のセンサーからのデータ分析により、地球の熱が上昇していることを示し、特に直近の 5 年間の海水温が地球の歴史の中で、最も高いことを明らかにした）

[原文](#)

(15 January 2020, Radio NZ)

[分析レポート](#)

10 パラオでオンライン賭博に従事し、拘束された 84 人（中国人）が、50US ドルの罰金を科され、パラオから国外追放される予定（同決定に対し、そのよ

うな軽い処分は同様の犯罪を企む人間に誤ったメッセージを送ることになると反対する議員もいるが、6 名しかいない検察官はすでに過剰労働の状況にあり、これは現実的な解決方法だと法務大臣は答弁。）

[原文](#)

(17 January 2020, Island Times)